

習慣が変われば 人格が変わる

尾道市立向東小学校
第6学年通信
令和4年3月1日
No. 22

標準学力調査の結果から

12月14日に、標準学力調査があり、国語科と算数科のテストを行いました。どの児童も、最後まで一生懸命考え、頑張ってテストを受けていました。校内でテスト結果を分析したところ、次のような力に課題があることが分かりました。

国語科	【国語】 ・全国平均より2.7ポイント低い。 ・言葉（漢字や和語漢語等）の力に課題がある。 ・与えられた条件を全て満たして文章に表すことに課題がある。
算数科	【算数】 ・全国平均より5.3ポイント低い。 ・分数のかけ算、わり算の計算、立式の正答率が低い。 ・分配法則（計算のきまり）が身に付いていない。 ・比と比の値の単元の正答率が低い。

一方で、昨年度からの経年変化を見ると、国語科・算数科共に標準スコア（全国平均との差から算出）が向上しており、普段の学びの力を発揮できたように思います。個々の結果をもとに、小学校の学習の振り返りをしていこうと思います。また、この結果から、6年生では今後の学習で、次のことに力を入れて指導をしていきたいと考えています。

《国語科》

- ・意味調べの学習の時間を充実させる。
- ・条件を意識して文章を書くことができるように、短い文から組み立てる学習を行う。
- ・友達と協働して文章をつくることで、前後のつながりを意識できるようにする。

《算数科》

- ・課題のある単元を重点的に復習する。
- ・繰り返し学習だけでなく、計算の意味を説明する学習を行う。
- ・図と式を結びつけて説明したり、式の意味を説明したりする学習を行う。

各学年での学習内容を、該当学年のうちにしっかりと身に付けていきたいと思います。また、課題点として挙げた項目は、重点的に指導を行い、3月に再検証を行い、学力定着を目指していきます。校内一丸となって取り組んでいきたいと思います。よろしくお願い致します。